

2025年度 第8次大阪府医療計画PDCA進捗管理票 堺市二次医療圏

【着手状況】（保健医療協議会時点（見込））

◎：実施／ ○：今年度実施予定／ △：次年度以降実施予定

第8次大阪府医療計画における取組		2025年度の取組内容（左記に関する取組内容を記載）		次年度以降の取組予定
		取組内容	着手状況	
（１）地域における課題への対策				
がん	がん診療拠点病院等で構成する堺市二次医療圏でのがん診療ネットワーク協議会において、がん医療体制等の推進に関する意見交換や情報共有に取組み、地域における医療体制の充実につなげます。	堺市医療圏がん診療ネットワーク協議会（年2回）に参加し、堺市医療圏のがんの医療の質の向上について5分科会の取組共有や意見・情報交換を行っています。 また、がん拠点病院や地域の医療機関の関係者などを委員としたがん対策推進委員会（1月）を開催し、がん対策についての取組共有や情報交換等を行いました。	◎	引き続き、堺市医療圏がん診療ネットワーク協議会への参加やがん対策推進委員会を開催し、取組の情報共有等を行います。
	喫煙（受動喫煙含む）、飲酒、身体活動、食生活等の生活習慣を変えることや、感染対策によってがんの発症予防につながることから、生活習慣の改善に取組み、併せて、感染症の検査や予防接種を受けること等の周知啓発を行います。	がんの発症予防のため、世界禁煙デーや乳がん月間等での啓発をはじめ、様々な機会に喫煙、飲酒、身体活動、食生活、感染症予防等に係る啓発を一体的に行いました。また、がんとの共生に向け、がんに係る正しい知識について情報発信や普及啓発を行いました。 がんの早期発見・早期治療のため、がん検診の無償化延長、がん検診の周知・啓発等を計画的に実施する等、がん検診の受診率向上に向けた取組を行いました。	◎	引き続き、様々な機会を通じて、がんの予防やがんとの共生のため、生活習慣病予防やがん検診、がんに係る正しい知識の周知・啓発を一体的に実施します。
脳卒中等の脳血管疾患、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病	各種会議等において、脳血管疾患、心血管疾患、糖尿病に関する地域における医療提供体制や、医科、歯科、薬科の各分野での取組状況について、関係者間で共有する等、地域における医療連携体制の充実につなげます。	堺市健康施策推進協議会（10月2日）において、市民の健康寿命を延伸するための施策を総合的かつ計画的に推進する計画として2024年度に施行したさかい健康プランをもとに、保健医療分野の関係団体等で課題や取組を共有しました。	◎	堺市健康施策推進協議会を毎年開催し、保健医療分野の関係団体等で課題や取組を共有し、健康寿命の延伸に向けた取組を検討します。
	関係機関（医科・歯科・薬科等）とも連携し、健やかな生活習慣の形成に向け、「栄養・食生活」「食育」「身体活動・運動」「こころの健康」「たばこ」「アルコール」「歯と口の健康」「健康チェック」に関する正しい知識について、啓発に取組みます。	健康増進を目的とした各種教室や健康教育、健康相談を開催しています。医師会、歯科医師会、理学療法士会等の保険医療関係団体や企業と連携しながら、様々なタッチポイントで、より多くの市民に啓発できるよう工夫して実施しています。 健康教育 計369回、健康相談 計226回 ※11月末時点	◎	引き続き、様々な機会を捉えて啓発します。
	心血管疾患等の予防と合わせ、COPDの早期発見、早期治療につながるようCOPD集団スクリーニング質問票の活用や運動指導等に取組みます。	COPDの基礎知識や呼吸のトレーニング方法を学ぶ講座「はいかつ講座」（6月4日、7月16日、10月22日、11月19日）を開催しました。はいかつ講座では、COPD集団スクリーニング質問票による自己チェックやスパイロメーターによる肺年齢測定も行いました。また、商工会議所実施の職域健診の一部において、希望者を対象に肺年齢測定を実施する予定です。さらに、市内の一部の屋外喫煙所にCOPD啓発ポスターを掲示予定です。	◎	引き続き、様々な機会を捉えて啓発します。

■2025年度 第8次大阪府医療計画PDCA進捗管理票 堺市二次医療圏

【着手状況】（保健医療協議会時点(見込)）
◎：実施／ ○：今年度実施予定／ △：次年度以降実施予定

第 8 次大阪府医療計画における取組		2025年度の取組内容（左記に関する取組内容を記載）		次年度以降の取組予定
		取組内容	着手状況	
（１）地域における課題への対策				
精神疾患	多様な精神疾患等の治療を地域で安心して受けることができるよう、対応できる医療機関の医療機能を示し、役割分担・病病連携を含めた連携体制を推進します。また、自殺対策と依存症対策は、各々の計画に基づき、総合的な施策を遂行します。	・堺市二次医療圏における精神等の充実と連携体制構築へ向けた協議を行うため、大阪府堺市保健医療協議会精神医療部会（12月24日）を開催しました。 ・庁内関係課による自殺対策連絡会（8月8日、1月30日（予定））及び依存症対策庁内連絡会（8月6日、1月29日（予定））を開催し、自殺対策及び依存症対策に関する情報共有及び各分野からの取組進捗状況、連携可能な事業等について意見交換を行いました。 ・自殺対策連絡懇話会（9月4日、3月26日（予定））及び依存症対策推進懇話会（9月10日、3月25日（予定））を開催し、専門的見地からの意見を聴取し、施策への参考にしました。 ・6月、市内の1医療機関を依存症専門医療機関（アルコール健康障害・薬物依存・ギャンブル等依存）として選定しました。	○	・医療計画に掲載している課題や取組を踏まえ、その進捗管理等を精神医療部会において行うことにより、堺市二次医療圏の充実と連携体制構築を図ります。 ・最終年度となる「堺市自殺対策推進計画（第 3次）」及び「堺市依存症地域支援計画」に基づき、引き続き総合的に取組を進めます。 ・次計画である「堺市自殺対策推進計画（第4次）」及び「堺市依存症地域支援計画（第2次）」を策定し、自殺対策、依存症対策をさらに推進します。
	認知症の方が尊厳を保ちながら住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、各種支援施策を総合的に推進します。	認知症疾患医療センター・認知症初期集中支援チームの運営、嘱託医相談の実施、介護職向け研修の実施、認知症チェックリストの配布、徘徊SOSネットワーク事業、パネル展・物販店等市民啓発事業など、関係部局が連携して、各種の認知症支援施策の推進を行いました。	◎	認知症になっても安心して暮らせる「認知症にやさしいまち堺」の実現をめざして、引き続き、認知症支援施策の充実を図ります。
	保健・医療・福祉関係者等による「協議の場」と、重層的な連携支援を構築することによる地域基盤の整備に加え、精神科病院からの退院意欲の喚起、地域生活への移行に向けた支援を進めます。	・堺市退院促進支援会議を令和3年度より「協議の場」に位置付け、年2回（10月27日、3月9日（予定））実施しています。昨年度で医療機関を中心としたワーキングチームのモデル事業が終了し、退院促進支援会議において評価・検証しています。 ・また、堺市精神保健福祉審議会を「協議の場」として位置付け、年1回（8月4日）実施しています。 ・各区役所の基幹相談支援センターに配置する地域移行コーディネーターにより、市内の精神科病院にて実施する茶話会等の支援を実施しています。退院意欲の喚起を進めながら、医療と地域のネットワーク構築を推進しました。 ・1月16日に地域移行をテーマにした研修を予定しており、地域移行の理念の講義や身近な支援者が実践報告を行うことで、地域啓発を進めています。	○	引き続き、現在の取組を進めながら、効果的な協議の場を整備します。協議した内容を事業等へ反映できるよう、障害者施策推進協議会や障害者自立支援協議会等の協議体と連動して取り組みます。
救急医療、災害医療	堺地域メディカルコントロール協議会における救急隊活動の質向上、医療機関間の連絡会等開催による効率的な救急医療体制構築を進め、医療機関の協力を得ながら、新興感染症の発生・まん延時には感染症対応と両立できるような救急医療体制の構築に取り組めます。	救急隊活動の質向上を図るため、堺地域メディカルコントロール協議会（6月23日、3月頃（予定））を参加しました。また、救急告示病院連絡会（7月22日、2月頃（予定））を開催し、堺市内の救急医療体制の状況等について、救命救急センター及び市内医療機関と行政間で情報共有を行いました。	○	引き続き、地域完結型救急医療充実のため、救急医療関係者と市内の救急搬送の現況について情報共有を図り、救急隊活動の質向上、効率的な救急医療体制の構築に取り組めます。
	災害時医療救護活動マニュアルの整備(改定)、訓練等を通じて、医療機関、関係機関等と災害時の迅速・的確な連携体制の構築に取り組めます。	令和7年3月に堺市災害時医療救護活動ガイドラインを策定し、ガイドラインに基づく研修会（12月21日）及び訓練（1月17日）を実施予定です。また、拠点応急救護所の増設に向け医療機関と協議・調整を進めています。	◎	引き続き、堺市災害時医療救護活動ガイドラインに基づく研修会・訓練を実施し、災害時における関係機関との連携強化、対応能力の向上に取り組めます。

■2025年度 第8次大阪府医療計画PDCA進捗管理票
 堺市二次医療圏

【着手状況】（保健医療協議会時点(見込)）
 ◎：実施／ ○：今年度実施予定／ △：次年度以降実施予定

第 8 次大阪府医療計画における取組		2025年度 の 取組内容（左記に関する取組内容を記載）		次年度以降 の 取組予定
		取組内容	着手状況	
（１）地域における課題への対策				
周産期医療、小児医療	大阪府周産期医療協議会に参画するとともに、大阪府周産期医療体制整備計画に基づき、大阪府と連携し、周産期医療体制の中心となるNMCS、OGCSの取組を支援します。	大阪府周産期医療及び小児協議会（予定）に参画し、大阪府内におけるNMCS、OGCSの取組状況を把握しました。また、周産期医療委員会に参加する等し、大阪府内で周産期医療提供体制について情報を共有しました。	○	引き続き、大阪府周産期医療協議会に参画し、大阪府、大阪市と連携の上、NMCS、OGCSの取組を支援します。
	適正な受診につながるよう、かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師を持つこと等について、住民への啓発に取組めます。	啓発冊子「かかりつけ医をもちましよう」のホームページへの掲載のほか、医療機関、各保健センター、保育施設等におけるポスターを用いた周知に加え、啓発カードを作成・配布しました。また、市の広報紙に適正受診に関する記事を掲載し、市民への啓発に取り組みました。	◎	適正な受診につながるよう、かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師を持つこと等について、引き続き、市民への啓発に取り組みます。
	医療機関において、保健機関（保健センター等）による養育支援が特に必要な人を把握した場合、要養育情報提供書票等を活用し、医療機関と保健機関が連携し、切れ目のない支援に取り組めます。	医療機関において、保健機関（保健センター等）による養育支援が特に必要な人を把握した場合には、要養育支援者情報提供書票等を活用し、医療機関と保健機関が連携して、切れ目のない支援に取り組みました。	◎	引き続き、医療機関において、保健機関（保健センター等）による養育支援が特に必要と判断される方を把握した場合には、要養育支援者情報提供書票等を活用し、医療機関と保健機関が連携して、切れ目のない支援に取り組みます。
（２）新興感染症発生・まん延時における医療				
	新興感染症の発生・まん延時における感染症対策において、円滑な連携が実現されるよう、平時から関係機関等が実施する研修・訓練の機会の活用等により、感染症対策に関わる人材のネットワークを強化する等、連携体制の強化を図ります。	平時から危機対応に備えて円滑な連携が実現されるよう、感染症対策に関わる人材のネットワーク強化に取り組ましました。 ・国立健康危機管理研究機構主催のEXP02025大阪・関西万博対応を想定した検体搬送机上訓練（4月25日）、病原体検査対応振返り演習（7月28日）へ参加しました。 ・新興感染症発生時における患者搬送訓練（12月10日）を第1種感染症指定医療機関（堺市立総合医療センター）及び消防局と連携して実施しました。 ・健康危機発生時にIHEAT要員による保健所の支援体制を構築するため、IHEAT要員に対する研修（12月10日）を実施しました。 ・社会福祉施設における感染症のまん延を予防するために、堺ICNネットワークと連携し施設訪問による感染対策指導を実施しています。（11月10日～2月27日）	○	引き続き、新興感染症の発生・まん延時における感染症対策において、関係機関等と円滑な連携が実現されるよう、患者搬送訓練や人材育成のための研修を継続して実施し、感染症対策に関わる人材のネットワークの強化、連携体制の強化を図ります。

■2025年度 第8次大阪府医療計画PDCA進捗管理票 堺市二次医療圏

【着手状況】（保健医療協議会時点（見込））
◎：実施／ ○：今年度実施予定／ △：次年度以降実施予定

第 8 次大阪府医療計画における取組	2025年度 の取組内容（左記に関する取組内容を記載）		次年度以降の取組予定
	取組内容	着手状況	
(3) 地域医療構想（病床の機能分化・連携の推進）			
全病床機能報告対象病院を対象とした「病院連絡会」を今後も開催し、病床機能分化・連携の検討のためのデータから、地域で必要とされている病床機能・診療機能について協議検討し、今後の方向性について関係者間で認識の共有を図ります。	堺市二次医療圏における病床機能の現状を把握するために、病院プランの調査を実施しました。病院連絡会を開催し（12月23日）、不足している医療機能等、堺市二次医療圏の現状について、外来機能報告対象病院間で情報共有を行いました。	◎	引き続き、病院連絡会を開催し、圏域内の病院関係者に対し、不足している医療機能等、堺市二次医療圏の状況について情報共有する場を設け、医療機関の自主的な取組を支援します。
「大阪府堺市保健医療協議会」等において、2025 年に向けた各医療機関の病院プラン（対応方針）について協議することにより、医療機関の自主的な機能分化・連携を促進します。	病院プランについて、医療・病床部会（1月16日）及び大阪府堺市保健医療協議会（2月10日（予定））において報告しています。地域の関係者と堺市二次医療圏の現状を共有することで、医療機関の自主的な取組を支援しました。	◎	引き続き、病床機能の現状について、地域の関係者と認識の共有を行い、医療機関の自主的な取組を支援します。
(4) 在宅医療			
連携の拠点及び積極的医療機関による取組を推進し、地域で完結できる体制と関係者の連携体制の強化を図ります。	連携の拠点の取組状況について、在宅医療・ターミナルケア部会（11月6日）において報告・意見交換を行いました。新たに積極的医療機関として31医療機関から再設定の申請があり、大阪府堺市保健医療協議会（2月10日（予定））で協議を経て、最終選定される予定です。	◎	引き続き、連携の拠点及び積極的医療機関による取組を推進し、在宅医療の体制整備の強化に取り組めます。
「堺市地域医療情報ネットワークシステム」の活用を促進し、病病・病診連携のさらなる強化に取組みます。	堺市医師会、堺市歯科医師会、地域医療支援病院等で構成した堺市地域医療情報ネットワークシステム運営協議会において、同システムを運営しています。新たな情報公開施設が参画するなど、関係機関と連携し、普及啓発等に取り組めました。 《参加状況》 情報公開施設 7施設、参照施設 143施設（7月1日時点）	◎	引き続き、堺市地域医療情報ネットワークシステム運営協議会に参画し、病病・病診連携を推進します。
在宅医療サービスの基盤整備のために、医科、歯科、薬科等の各種研修会に協力します。	医師会・歯科医師会・薬剤師会と連携し、医師向け・歯科医師向け・薬剤師向けの認知症対応力研修（11月27日）を市が主体となって実施しました。	◎	引き続き、医師会・歯科医師会・薬剤師会と連携しながら、研修の充実を図っていきます。
人生会議（ACP）について、行政を含む医療関係者や福祉関係者、消防関係者等の間で意見交換を行い、市民や医療関係者、福祉関係者等へのさらなる普及を推進します。	市民を対象に、医療従事者等による働く世代向けのセミナーを実施しました。（8月から2月まで毎月開催、計7回） 医療・看護・介護職の関係者間でACPを考えるワークショップ（12月20日）を開催しました。	◎	引き続き、普及啓発活動を推進します。